

第 38 回九都県市合同防災訓練(防災フェア)に参加して

県西ブロック災害対策エリアコーディネーター 矢部 則明

去る平成 29 年 9 月 1 日(金) 小田原市酒匂川スポーツ広場他におきまして「第 38 回九都県市合同防災訓練」が実施されました。内閣総理大臣も参加されるこの合同防災訓練は、日本国内でも最も大規模な訓練と言えます。訓練エリアのある中央会場には①救出救助訓練エリア②自走架柱橋③ライフライン訓練エリア④防災フェア⑤医療救護活動訓練エリア⑥住民参加型訓練エリア⑦ボランティアセンター訓練エリアが配置されています。この中の防災フェアのエリアは、一般からのブース参加が可能であり、今回初めて県西地区リハビリテーション連絡協議会からブース出展をいたしました。二次的障害である生活不活発病や深部静脈血栓症の啓蒙、神奈川県理学療法士会の災害支援に関する取組などをコンセプトに企画を行いました。

「九都県市合同防災訓練」は、埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市・相模原市の中で幹事エリアが中心となり消防、警察、自衛隊、在日米軍、各関係団体などが一堂に会して大規模な各種訓練を実施する合同防災訓練で、今回は神奈川県と小田原市の合同計画により実施されました。

- 訓練目的: 自衛隊や在日米軍が参加する医療救護活動訓練、救出救助訓練、住民参加型訓練、津波対策訓練、SCU(広域搬送拠点臨時医療施設)訓練等を実施し本県の地震や津波など被害の特性に応じた災害対応力の向上を図る。
- 訓練想定: (1)地震名称: 大正型関東地震の類似地震
(2)地震規模: マグニチュード 8.2
(3)最大震度: 7 (4)震源地: 小田原市沖
(5)発災日時: 平成 29 年 9 月 1 日(金)9 時
- 訓練内容: ア 自衛隊、在日米軍、米国赤十字社、DMAT等が連携する医療救護活動訓練
イ 県外の消防・警察・自衛隊等の広域応援部隊と連携した救出救助訓練
ウ 地域住民が実際に体験できるAED等の住民参加型防災訓練



私たちのブースには、平日にも関わらず PT7 名 OT1 名 ST2 名の計 10 名のスタッフが集まって運営を盛り上げてくれました。当日は、パネル展示、ボードでの資料掲示、段ボールベッドやラップポン(水不要でおいしい災害時トイレ)等の展示や実演、生活不活発病や神奈川県理学療法士会のパンフレット、および携帯用トイレや緊急時の笛などの配布を行いました。携帯用トイレは 150 セット準備し配布しましたが、最後は数が不足するくらいの盛況ぶり…市民の皆さんの防災に関する関心の深さを知ることができました。地元自治会の方からは、段ボールベッドやラップポンについて熱心に質問をいただきました。「自治会でこれから準備したいのだが使い勝手は…?」「いくら位するのか…?」などといった実用的な質問が多かったことがとても印象的でした。

今回、防災訓練そのものだけでなく周りのブースや医師会の救護活動訓練等を目の当たりにし、私たち PTOTST が、災害時に何を支援していくべきか、災害時に備えて何を予防していくべきかを真剣に考えさせられました。県西ブロックとしては①市の災害対策委員会への参加、②行政と連携した災害対策支援活動への参加などの課題に先ず着手していく予定です。



最後に、今回のブース出展に関して、多大な時間を割いて協力いただいた県西地区ブロック長の前田大助先生、出展した段ボールベッドの提供や他方の面からの協力していただいた災害対策委員長の下田栄次先生、PT・OT・ST 会にも参加等の呼びかけや資料入手等の協力をしていただいた災害対策担当理事の露木昭彰先生、そして当日忙しい中手伝いに来ていただいたスタッフの皆様にご心より感謝の言葉を申し上げます。